

各務原市の人口について

しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会

令和6年2月2日

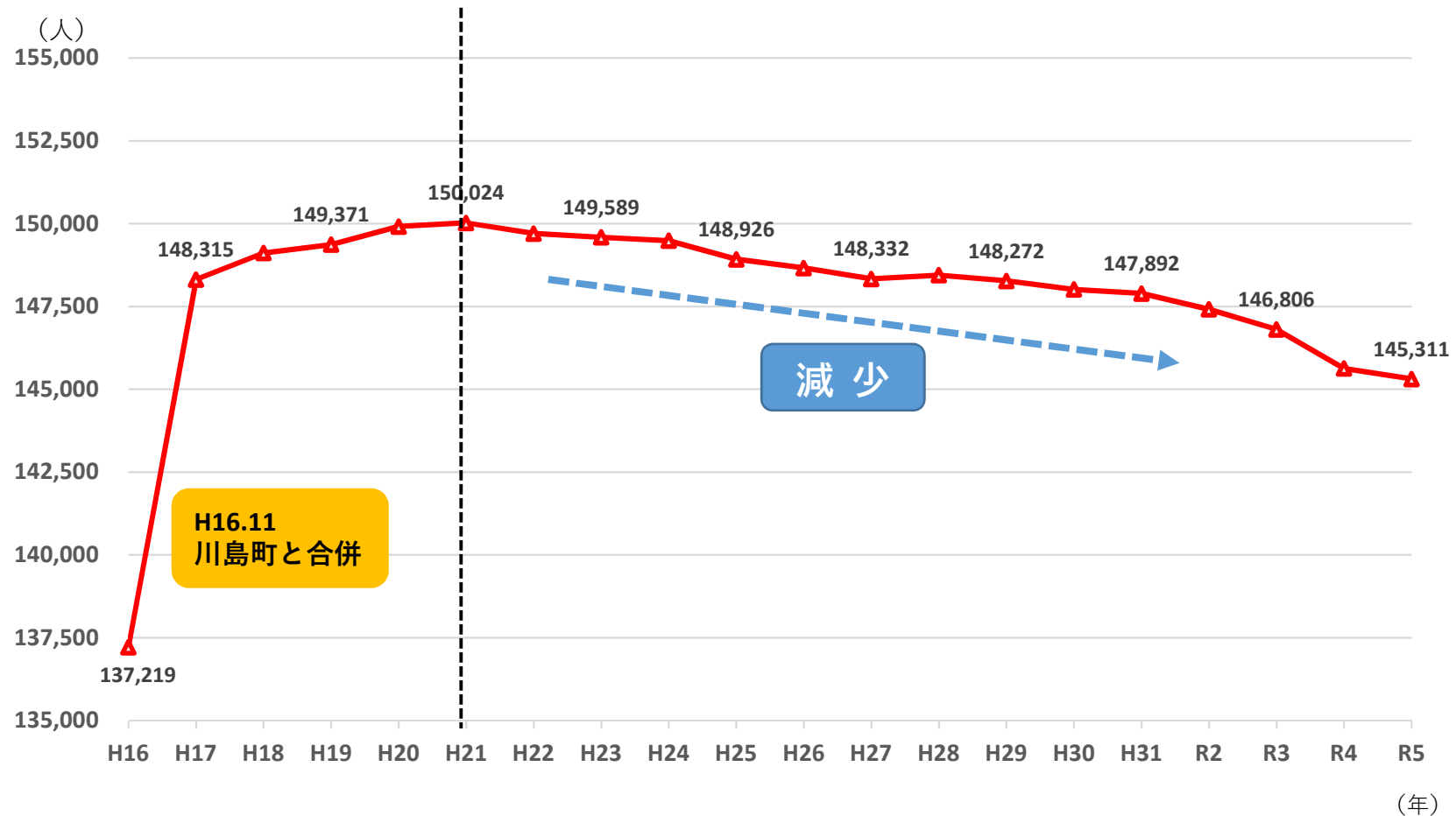
目次

- ① 各務原市全体の人口について
- ② 小学校区別の人口について
- ③ 本市の人口減少対策

① 各務原市全体の人口について

各務原市全体の人口の推移

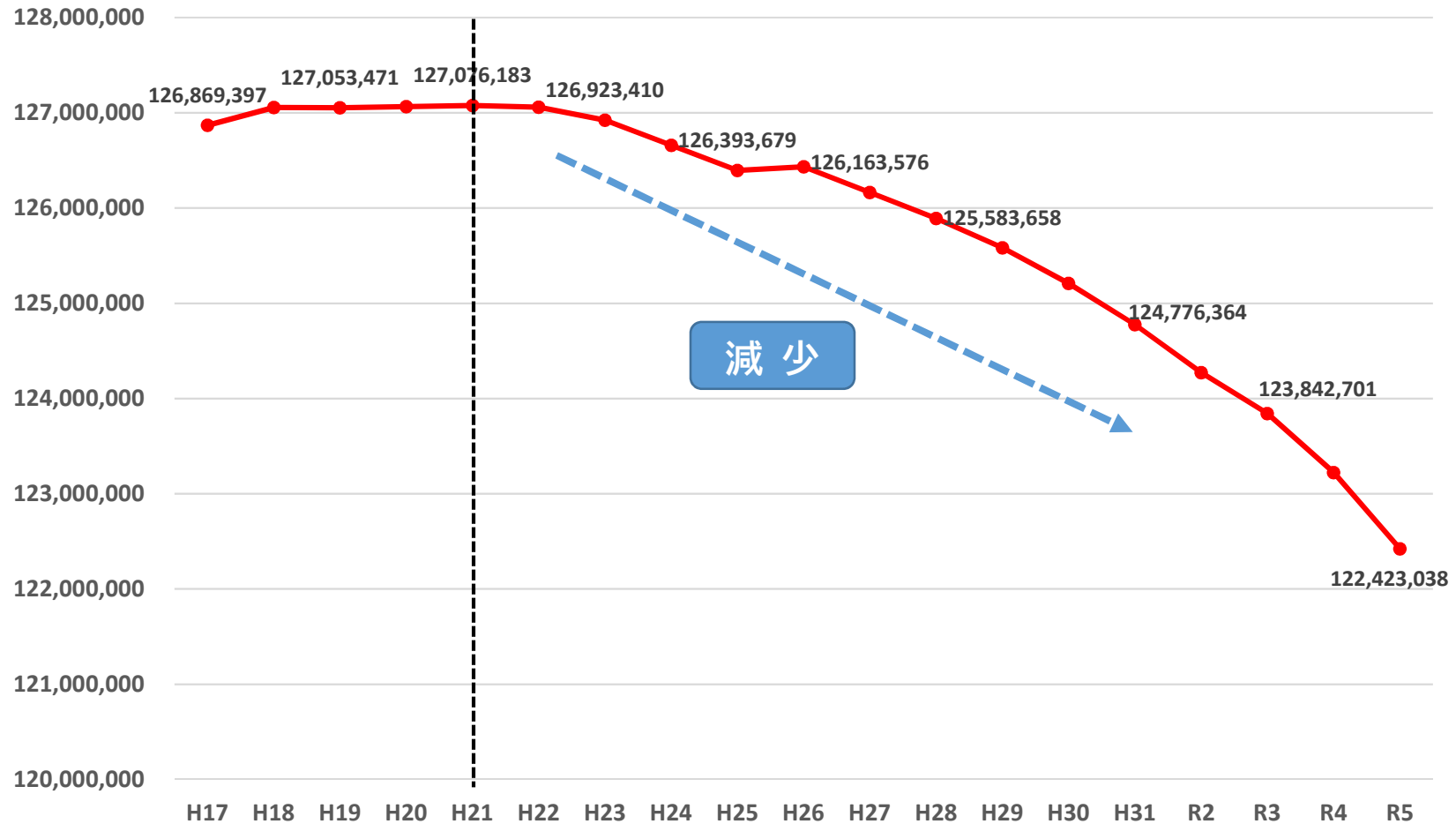
(各年4月1日現在)



本市の人口は、平成21年をピークに減少している

参考：日本の人口の推移

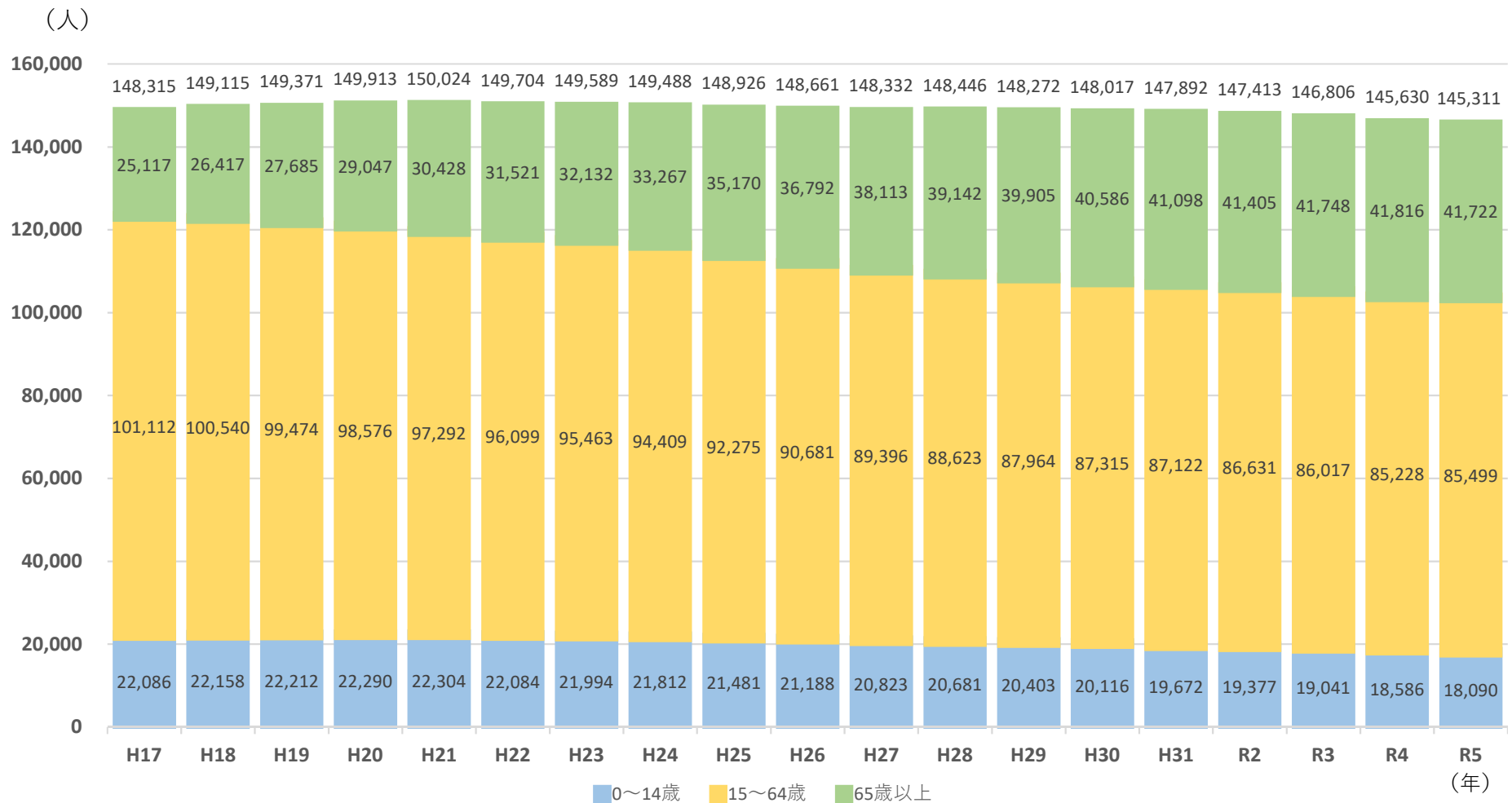
(各年1月1日現在)



日本の人口も、本市と同様に平成22年から減少に転じている

年齢3区分別人口の推移

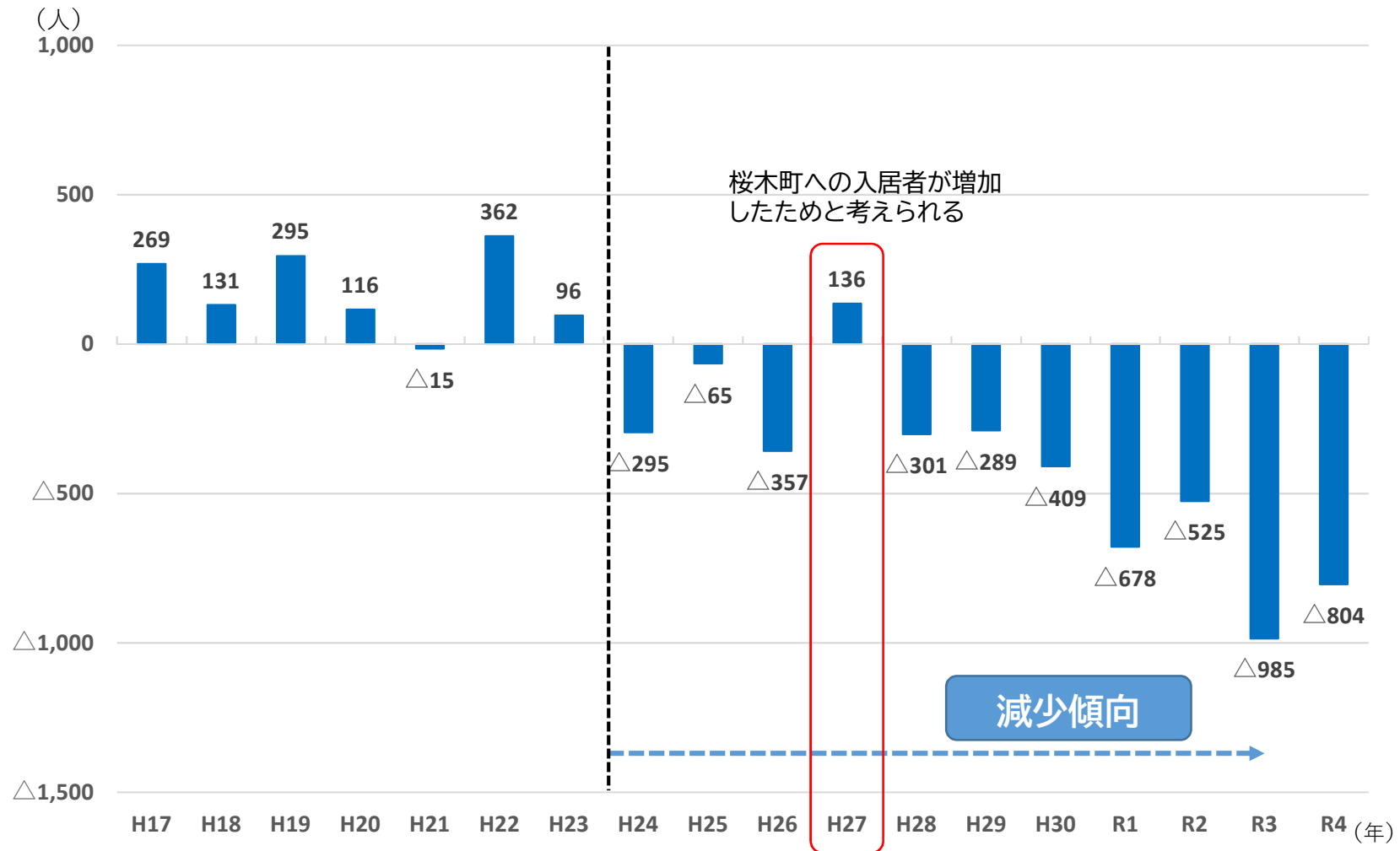
(各年4月1日現在)



0～14歳、15～64歳は年々減少し、65歳以上が増加している

人口増減の推移【日本人のみ】

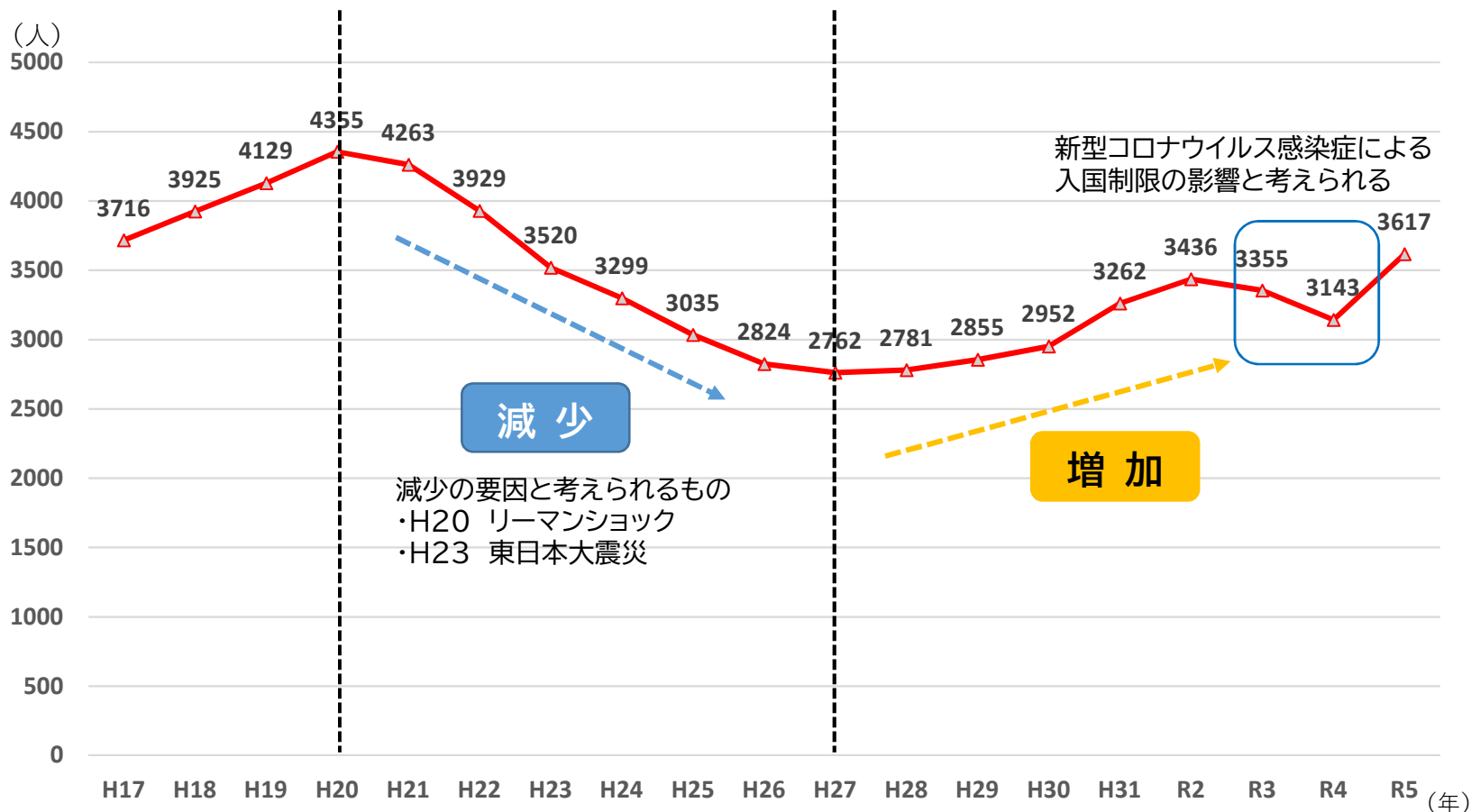
(各年度の合計)



日本人は、平成24年度以降は減少傾向となっている

外国人人口の推移

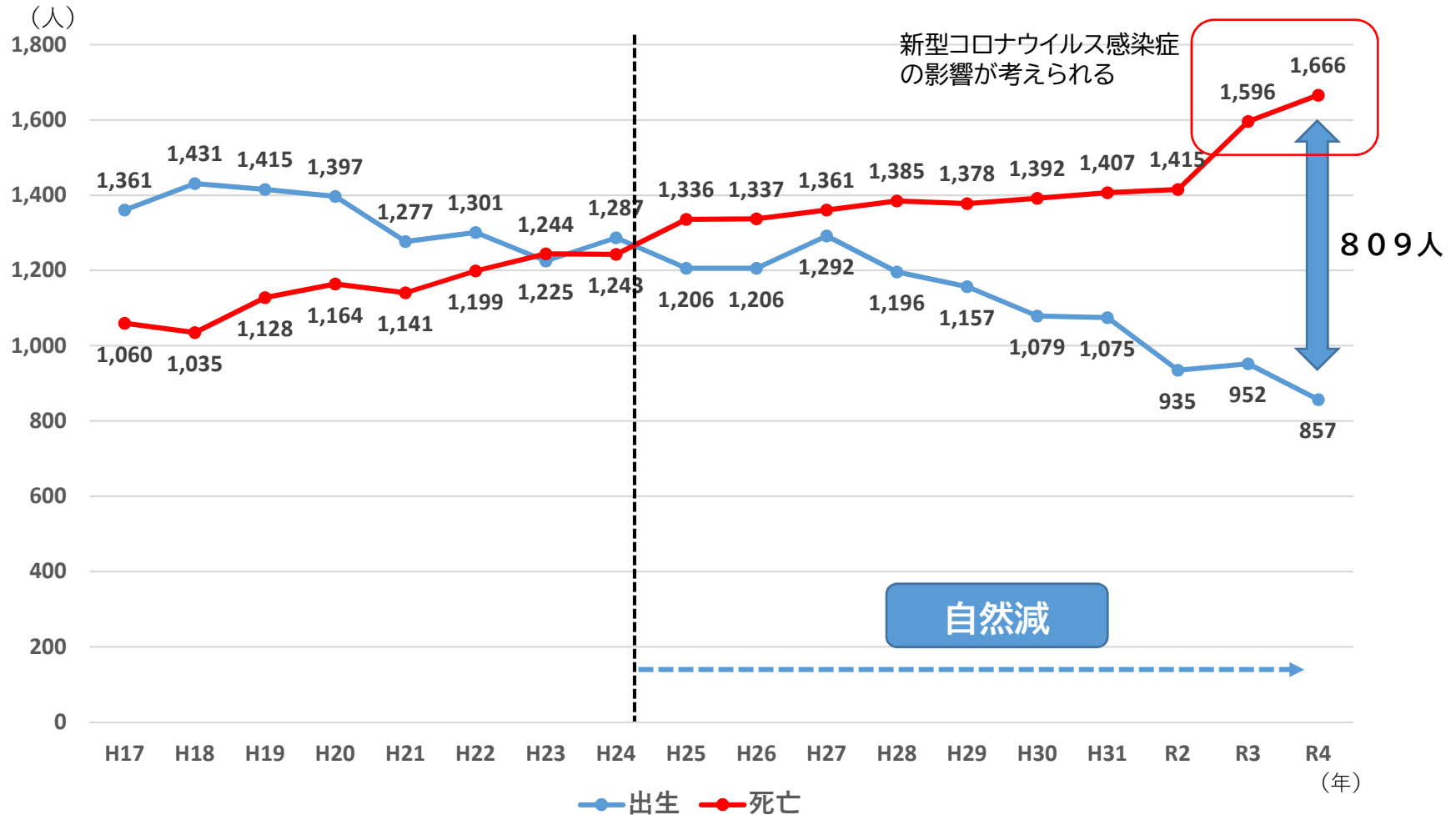
(各年4月1日現在)



- ・本市の外国人の人口は、平成21年以降減少傾向となったのち、平成27年以降再び増加傾向となっている
- ・市全体の人口における外国人の割合は1.8～2.9%で推移している

各務原市の自然動態

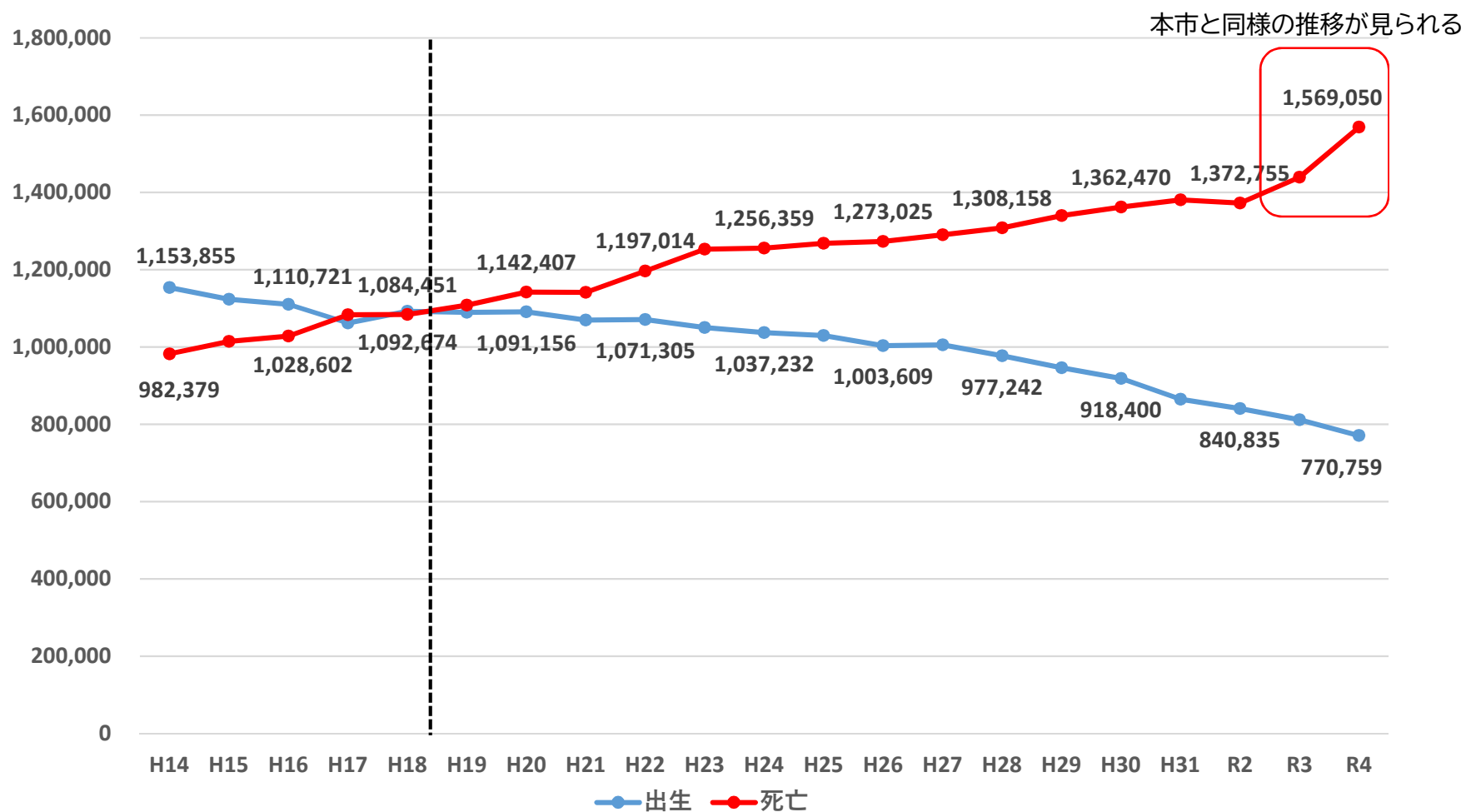
(各年度の合計)



平成25年度以降、出生者よりも死亡者が多い自然減の状況にあり、その傾向は加速している。

参考：日本の自然動態

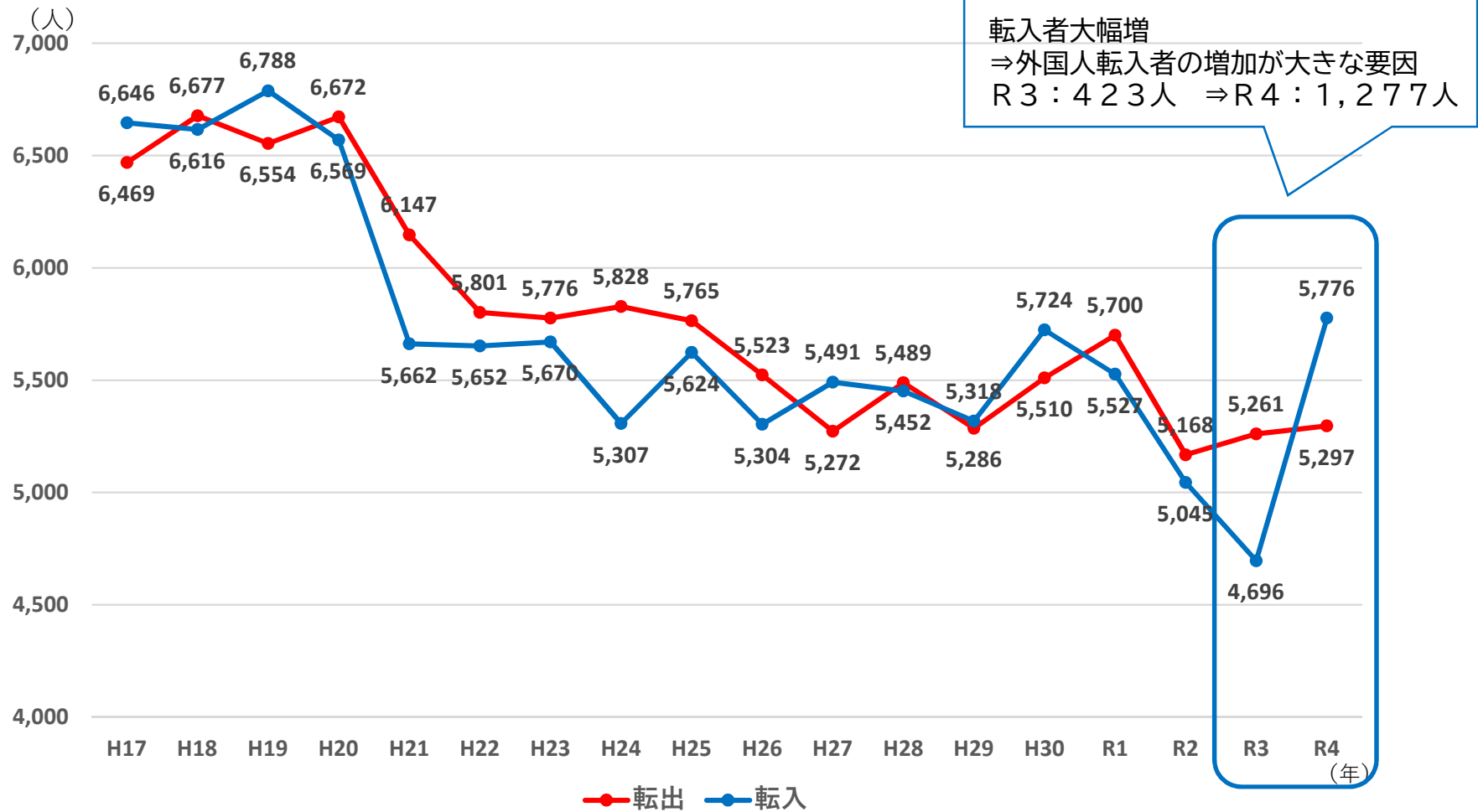
(各年1月～12月の合計)



日本全体でみると、平成19年以降は自然減となっている。

社会動態

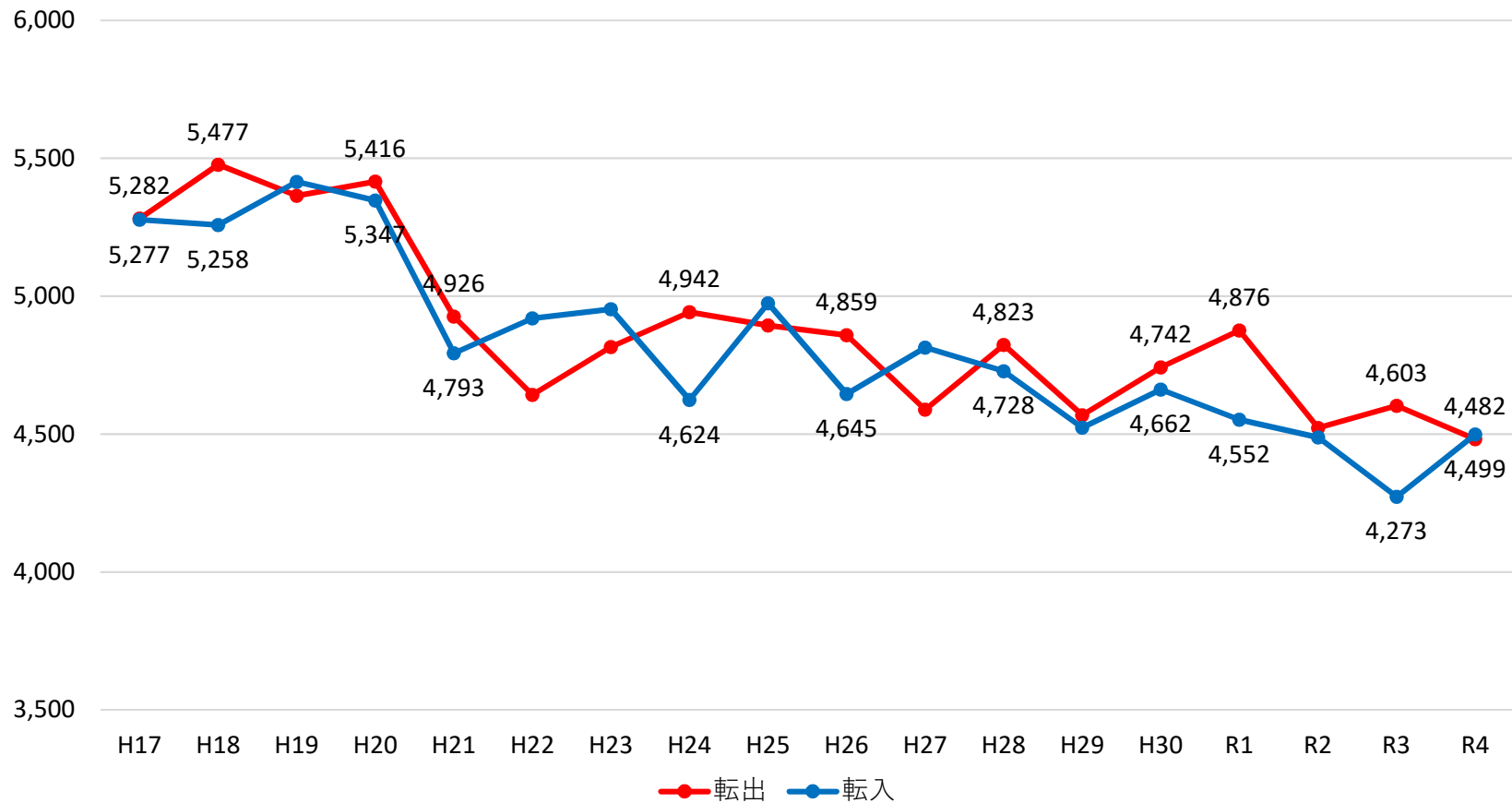
(各年度の合計)



転入と転出は、おおむね均衡しながら推移している

社会動態【日本人のみ】

(各年度の合計)



日本人のみの場合でも、転入・転出は均衡している。

人口推計手法について(概要)

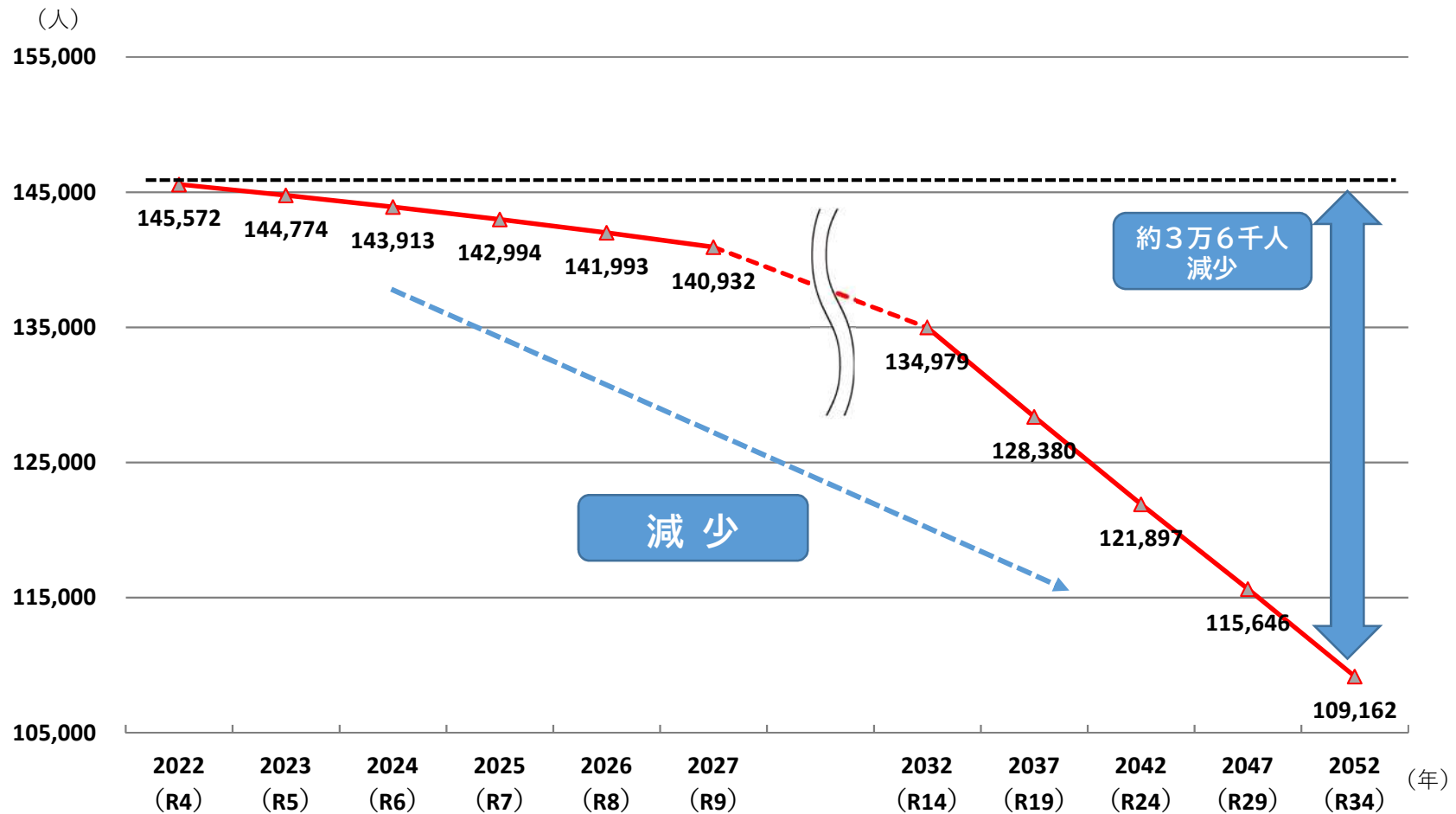
推計手法

- ◆ コーホート要因法
 - ・ 年齢別人口の加齢に伴って生ずる年々の変化をその要因（死亡、出生及び人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法。将来人口推計の基本的な手法として使用される。

使用データ

- ◆ 人口
 - ・ 住民基本台帳人口（平成29年～令和4年の各年5月1日現在人口）
- ◆ 出生率及び出生性比
 - ・ 全国2020年「女子の年齢（各歳）別出生率」
（国立社会保障・人口問題研究所）
- ◆ 地域補正
 - ・ 上記の出生率で計算した出生数と実際の0歳人口の比率を地域補正係数として設定
- ◆ 生存率
 - ・ 国立社会保障・人口問題研究所による平成30年推計で設定された各務原市全市の生存率
など

将来推計人口【2022—2052】



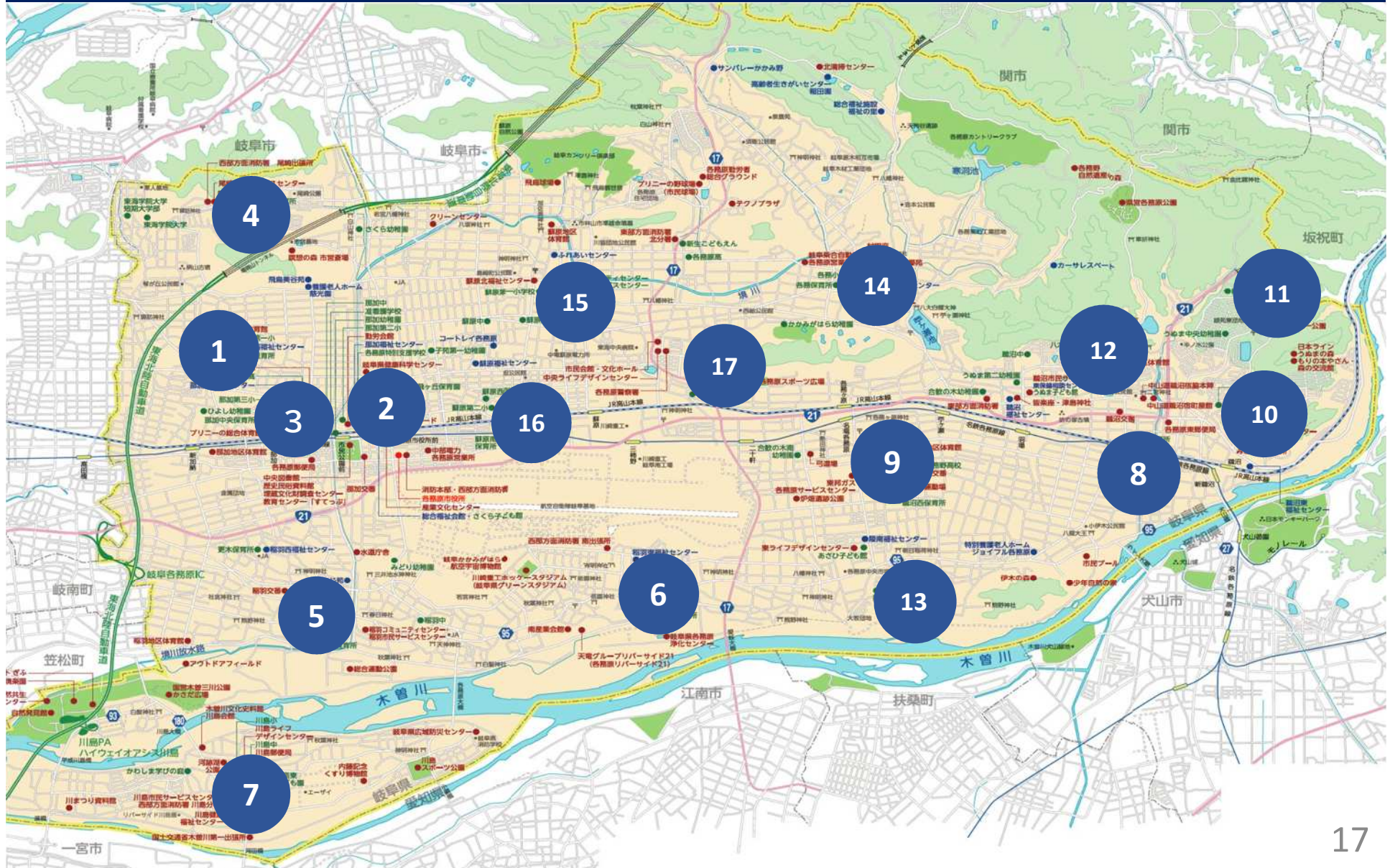
市全体の総人口は30年後には現在より約3万6千人減少すると見込まれている

② 小学校区別の人口について

小学校区一覽

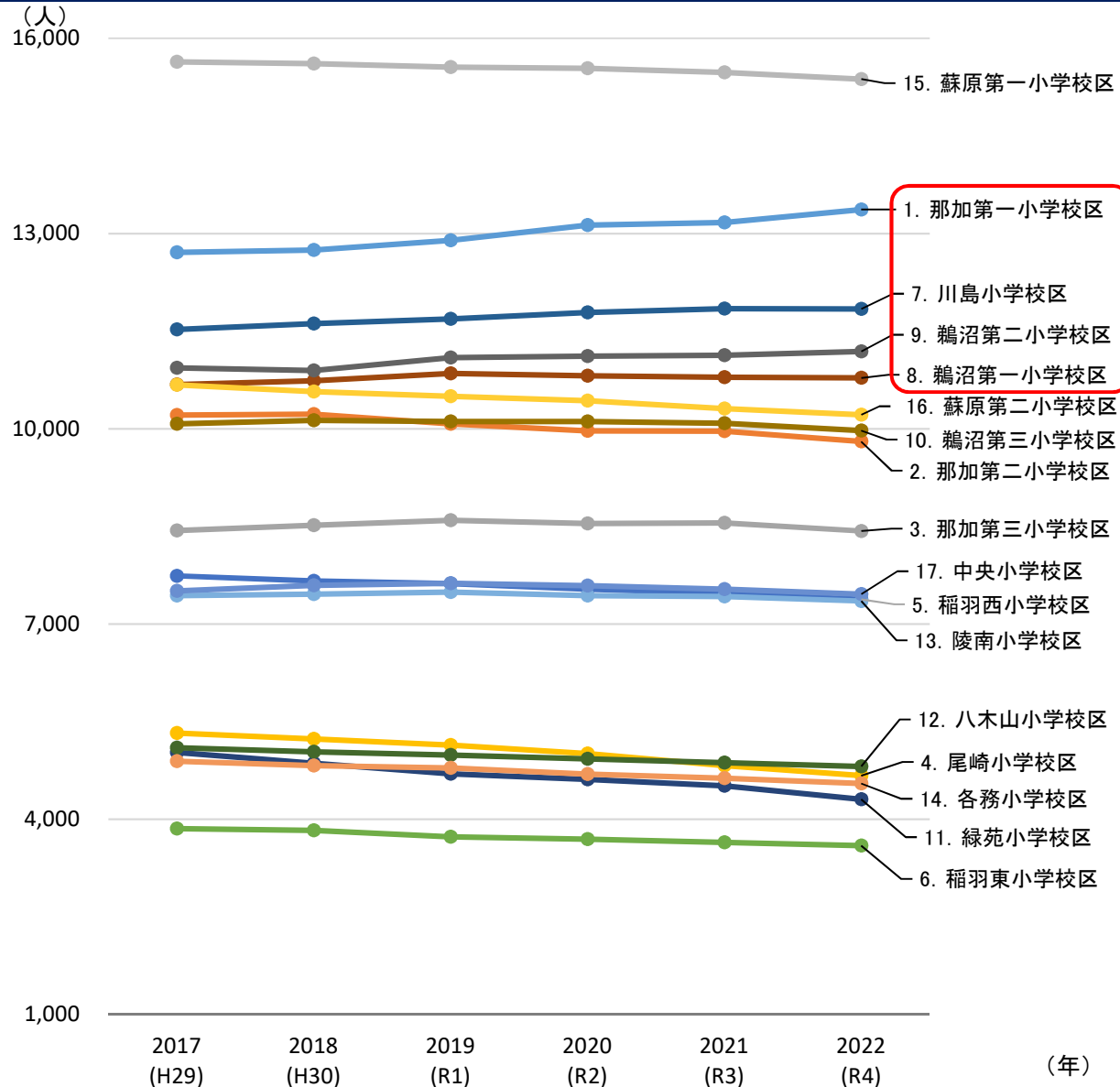
1. 那加第一小学校	1 0. 鵜沼第三小学校
2. 那加第二小学校	1 1. 綠苑小学校
3. 那加第三小学校	1 2. 八木山小学校
4. 尾崎小学校	1 3. 陵南小学校
5. 稻羽西小学校	1 4. 各務小学校
6. 稻羽東小学校	1 5. 蘇原第一小学校
7. 川島小学校	1 6. 蘇原第二小学校
8. 鵜沼第一小学校	1 7. 中央小学校
9. 鵜沼第二小学校	

各小学校の位置



小学校区別人口推移【2017-2022】

(各年5月1日現在)



◎2017~2022年

市内4小学校区で人口が増加

- ・那加第一小学校区
- ・川島小学校区
- ・鵜沼第一小学校区
- ・鵜沼第二小学校区

◎2022年以降

・今後はほぼ全ての小学校区で、人口減少、高齢化率の増加が見込まれている。

③本市の人口減少対策

●子ども・子育て関連事業



●空家バンク事業

●DIY型空家リノベーション事業



●企業立地促進助成

市内へ立地する企業に対する助成により、
市内産業を活性化



- ・生産年齢人口増加
- ・就業機会の創出

●マッチングアプリ「Pairs」との連携

